

石川県白山市

## 多品種・少量・短納期対応の精密板金加工 独自開発のシステムで全作業を可視化

歴史的には鋳物師としての勅許を受けていた1600年頃まで遡れる技術者集団が大正時代に創業（会社設立は1947年）。現在は多品種・少量・短納期を得意とする精密板金加工企業である。独自に開発した生産管理システム「Sopak」により製造に必要なあらゆる情報を収集・可視化して活用している。このシステムにより数量1個2個の小ロット単位から月に2万種以上の製品について、5日以内という短納期での製造・出荷を可能としている。

●所在地	石川県白山市水島町429-17	●設立	1947年
●電話/FAX	076-277-7330/076-277-7331	●資本金	1,000万円
●URL	<a href="http://www.kobayashi-mfg.co.jp/">http://www.kobayashi-mfg.co.jp/</a>	●従業員数	143人
●代表者	代表取締役 小林 靖典		



### 積極的設備投資と熟練の技術・提案力で幅広い製品分野を受注

機器カバー、半導体製造装置筐体等の薄板精密板金、製缶、塗装等を行っている。熟練の職人の技術と積極的に導入している最新の機械装置との融合により1/100ミリの精度が求められる小型部品から数メートルの大物まで幅広い製品分野の受注に対応している。また、ITをフル活用することで、超高精度が求められる精密板金加工において、月2万種以上の多品種少量注文を2日から5日の短納期で納めることを実現している。さらに、板金加工によるコスト削減や精度向上等顧客のニーズに応える各種提案も行っている。



自社開発治具ロボットと製品サンプル

### IT化・自動化投資の推進により短納期と高い生産性を実現

短納期の実現に貢献しているのが業務のIT化であり、そのシステムのほとんどを社長を中心に自社で開発している。特に生産管理システム「Sopak」（2012年IT経営力大賞経済産業大臣賞授賞）は、社内に設置された200台以上のカメラと連動して、「いつ・どこで・だれが・なにを・どのように」を瞬時に把握することが可能であり、納期と数量に合わせた適切な作業を可能としている。また、開発、受注から出荷までの全工程・部署に最新の自動化設備を積極的に導入することで高い生産性を実現している。



Sopakシステムのカメラ

### IT化による技術承継や女性の活用等多面的な方法による人材確保

「Sopak」システムの導入により社員一人ひとりの個別指導が容易となり、さらに作業者が作業現場でバーコードを読み込むことで、過去に熟練技術者が同じ部品を加工した画像を確認できるため、「人」に蓄積していたモノづくりのノウハウを「会社全体」で共有化することを可能にしている。また、事務職だけでなく製造、技術を含めた全ての工程でリーダー職の約33%を女性が占める等女性の活躍が目立つ職場でもある。このような取組により、多面的に次世代の担い手の育成・確保を推進している。



ITを活用した技術承継